

センター部会（概要版）

【提言項目】

1. デイサービスの支援効果に関する研究
2. 軽介護高齢者の生活課題の把握、対応策の検討に基づく提言

【センター部会とは】

東京都社会福祉協議会に所属し、都内の高齢者デイサービスセンター・地域包括支援センター・在宅サービスセンターの3センターをもって組織されている。当部会は、在宅サービスの地域の拠点として、3センター事業の枠内にとどまらず、関連する他事業への取り組み、関係する部会との連携を深め、総合的な在宅サービスの部会活動を目指している。

当部会は、支援センター分科会・デイサービス分科会をはじめ、介護保険制度改正に対応した情報交換会、調査・研究活動、研修会の開催等の事業を行っている。

センター部会（詳細版）

【提言項目1】

デイサービスの支援効果に関する研究

【現状と課題】

センター部会が実施したデイサービス支援効果に関する本人インタビュー調査から、個別の機能訓練による身体機能の改善にとどまらない、他者と場を共有することによる社会性や意欲・自信の回復等、生活全般に影響する変化が語られた。調査研究は、同調査から導き出された支援効果15項目の誘因分析を行い、障害が不利にならずに活動に参加できる環境整備や人々と交流を促す多様なコーナー作りなどの物理的環境づくり、職員による対人援助技術と当事者間の相互支援、利用システムや職員体制などの運営システムの3側面の支援環境が相乗的に作用しあって、デイサービスの支援効果をうみだしている構造を明らかにした。

介護保険制度の改正の議論の中で、デイサービスは介護予防の拠点として大きな期待がかけられ、介護度の改善をもって予防機能を評価する仕組みがあわせて検討されている。

本調査研究の成果は、国や東京都に対して制度改正の課題提起とともに伝え、あわせてケアマネジャー等の関係機関や利用者（家族）等に向けてデイサービスの効果的利用方策について普及していきたい。

【提言内容】

他の居宅サービスと異なるデイサービス独自の支援効果を利用者が自分の意思と力で活路を見出していく自立支援の視点から、デイサービスの支援技術を体系化する。

【提言項目 2】

軽介護高齢者の生活課題の把握、対応策の検討

【現状と課題】

地域の一人暮らし高齢者や介護を必要とする高齢者世帯等の福祉課題の早期発見・対応のために、当部会は、在宅介護支援センター・地域包括支援センターの支援センター分科会及びデイサービス介護予防等情報交換会活動を重ね、次のとおり現状と課題を明らかにしてきた。

在宅介護支援センターは地域において軽介護度の高齢者等の「見守りネットワーク」構築のコーディネーター役を果たし、地域の福祉ニーズの掘り起こしとともに、介護保険サービスへのつながりを行ってきた。同センターは、平成18年4月の制度改正により地域包括支援センター事業に変更となったセンターと事業継続となったセンターに分かれた。

地域包括支援センターは、在宅介護支援センターが担ってきた役割に介護予防支援・介護予防ケアマネジメントのほかに特定高齢者の把握・権利擁護・虐待相談などの各事業を加え、軽介護高齢者の総合的な相談事業に取り組んできたが、介護予防支援業務が過大になり、相談事業に十分取り組めない現状がある。

当部会は、今後も両分科会・情報交換会活動を利用者や介護者の声をもとに充実強化することで、軽介護高齢者の「自立支援」や「予防」の考え方について議論を重ね、サービスメニューの見直しやマネジメントのあり方の再考を行い、次の制度改正に反映されるよう提言活動を行う。

【提言内容】

軽介護高齢者の「自立支援」「予防」のサービスメニューの見直しやマネジメントのあり方の再考を行う活動を提言する